

長野市民病院に大腿骨近位部にて  
過去に入院された患者さんまたはご家族の方へ看護研究にご協力をお願い致します。

2023年12月1日

「大腿骨近位部骨折術後における膀胱留置カテーテル抜去後の排尿障害の実態」に関する看護研究を実施する予定です。

長野市民病院倫理委員会の審査による長野市民病院長の承認を得て実施しています。この研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し可能な限り拒否の機会を保障することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2023 市病倫第 0053 号
研究課題名	大腿骨近位部骨折術後における膀胱留置カテーテル抜去後の排尿障害の実態
所属	看護部
研究実施期間	倫理委員会承認後～2024年2月29日
研究の意義、目的	大腿骨近位部骨折術後患者において膀胱留置カテーテル抜去後の排尿障害をおこす実態を明らかにする。
対象となる方	2021年3月～2024年3月に大腿骨近位部骨折の診断を受け、膀胱留置カテーテルを挿入、抜去後排尿障害を起こした入院患者60名、ランダムに抽出した排尿障害をおこしていない入院患者60名 計120名
利用する診療記録	① 既往(腰部疾患、脳疾患、糖尿病、前立腺肥大、泌尿器科受診歴) ②膀胱留置カテーテル挿入期間 ③骨折部位 ④入院前のADL(日常生活自立度：J～C) ⑤認知機能(認知高齢者の日常生活自立度：自立～ランクIV) ⑥手術待機日数 ⑦性別 ⑧年齢 ⑨創痛 ⑩内服薬( $\alpha$ 遮断薬、抗コリン薬) ⑪BMI(18.5未満、18.5～25未満、25以上) ⑫便秘 ⑬入院中尿路感染症の有無(抗菌薬を処方された人) ⑭膀胱留置カテーテル再留置の有無
研究方法	過去の診療記録より上記内容を収集し割合をだす。項目別に多かった群を実態とする。膀胱留置カテーテル抜去後に排尿障害を発症した患者としていない患者を比較する。

研究者	研究責任者：病棟師長 中野順子 研究者：勝山幸奈、金井未唯、 島田由希子（看護師）
問い合わせ先	主任施設の名称：長野市民病院 4階東病棟 電話：026-295-1199（代表） 氏名（所属・職名）：勝山幸奈、金井未唯、島田由希子（看護部・4 東病棟 看護師）

既存の診療記録を調査、集計しますので新たな診療や検査、検体の採取の必要はありません。研究成果は今後の医学の発展に役立つように院内で発表しますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

この研究にご自分の診療記録を利用することをご了承頂けない場合、またはご不明な点については、上記問い合わせ先まで御連絡くださいますようお願い申し上げます。

研究不参加を申し出られた場合でもなんら不利益を受けることはありません。